

## 平成30年度二本松市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス実施計画）評価

### 1 特定健康診査受診勧奨事業

#### 【事業目標（目的・背景等）】

特定健診未受診者に対し、受診を働きかけ、受診率の向上を図るとともに、生活習慣病の発症・重症化予防による医療費の適正化を図る。

#### 【実施人数】

3,000人

事業対象者：特定健診を2年以上受診していない方

#### 【事業内容・実施方法】

特定健康診査の受診履歴により、毎年継続して受診していない者に対して、受診を促すため、ハガキ又は電話での勧奨を行った。

#### 【実施時期】

平成30年8月から平成30年10月まで

#### 【評価指標】

特定健診受診率                      前年度対比で受診率1.5%増

#### 【評価】

特定健診受診率                      45.8%（前年度43.5%、法定報告値）

#### 【結果の分析と改善策】

受診勧奨の結果、522人の未受診者の受診につながった。

ハガキと電話で受診勧奨を実施しているが、電話勧奨で使用している電話がフリーダイヤルのため電話自体に出ないことが多く、そのような方にはハガキのみの勧奨となっている。

電話勧奨のうち4割が不通であったため、勧奨方法等の変更を含め、見直しを検討する。

## 2 医療機関受診勧奨事業

### 【事業目標（目的・背景等）】

特定健診の結果、検査数値が基準値を超過している被保険者、及び生活習慣病治療中断者に医療機関への受診を勧奨し、生活習慣病の発症・重症化予防を図る。

### 【実施人数】

199人

事業対象者：検査数値が基準値を超過しているにもかかわらず、医療機関を受診していない方

### 【事業内容・実施方法】

受診勧奨判定値を超えている者に対して、医療機関への受診を促すため、健診結果を記載したレターの送付及び電話勧奨を行った。

### 【実施時期】

平成30年9月から平成31年3月まで

### 【評価指標】

勧奨者受診率 5%

### 【評価】

勧奨者受診率 50%（受診勧奨者130人中65人が受診）

### 【結果の分析と改善策】

電話勧奨時に未受診だった90人中、25人が勧奨後に受診に至ったため、一定の効果があった。

健診結果で送付するリーフレットの内容と、電話勧奨時に説明の方法を工夫して、対象者の意識変化と早期の医療機関への受診につなげる。

今回は、血圧、血糖、脂質の3種の検査項目により対象者を抽出したが、他の検査項目でも重症化予防を図るために受診勧奨必要かを衛生部門と協議する。

また、対象者のなかでも数値がより悪い対象者は医療機関への受診を確実にするために市保健師が勧奨し、その以外の方を外部委託で受診勧奨するなど事業の効果的な展開を図れるような実施体制を国保部門と衛生部門とで連携して構築していく。

### 3 受診行動適正化指導事業

#### 【事業目標（目的・背景等）】

重複・頻回受診、及び重複投薬傾向の被保険者に対し、受診指導を実施することにより、受診行動の変化を図る。

#### 【実施人数】

3人

事業対象者：レセプト情報を基に、同一疾病で3ヵ所以上の医療機関に受診している方、同一医療機関に1ヶ月に15日以上受診している方、及び同一薬剤又は同様の効能・効果を持つ薬剤を複数の医療機関から処方されている方

#### 【事業内容・実施方法】

看護師、保健師、管理栄養士等の専門職が対象者を戸別訪問し、服薬に関する指導を実施する。対象者1人当たり2回指導を実施した。

#### 【実施時期】

平成30年10月から平成31年3月まで

#### 【評価指標】

指導数 20人

#### 【評価】

指導数 3人

#### 【結果の分析と改善策】

面談での指導を1回行い、1ヶ月後に改善状況を確認するための電話指導を1回行ったが、意識の変化はあっても、実際の行動の変化は1ヶ月では確認できなかった。

外部委託のため期間が短い中での実施だった。長期間にわたり対象者に指導を行える市保健師による指導を衛生部門と協議する。

#### 4 糖尿病性腎症重症化予防事業

##### 【事業目標（目的・背景等）】

糖尿病性腎症重症化が懸念される対象者に対し、生活習慣及び健康維持を意識させ、生活習慣の改善を図る。

##### 【実施人数】

13人

事業対象者：健診結果(HbA1c値)・レセプト情報から絞り込む。

##### 【事業内容・実施方法】

対象者1名につき、面談指導2回、電話指導6回を実施した(6ヶ月間)。

参加案内を107件、参加電話勧奨を97件実施した。

##### 【実施時期】

平成30年4月から平成31年3月まで

##### 【評価指標】

保健指導数 5人

##### 【評価】

保健指導数 13人

##### 【結果の分析と改善策】

対象者の抽出条件の1つであるHbA1cの指導前後の数値を比較したところ、比較できる12人中7人が指導開始時より数値の改善を確認できた(受託者報告書)。

指導前後の対象者にアンケートを実施したところ、特に食事に対する前向きな取組みがあった。その取組みにより糖代謝の改善につながったと思われる。

指導を要する対象者の抽出に当たっては、空腹時血糖とHbA1cを前提条件とし、eGFRや尿蛋白の程度によって対象者の振分けを行っているが、指導によって改善が見込める対象者を把握するために着目する検査項目や数値について衛生部門と協議する。

## 5 健康マイレージ事業

### 【事業目標（目的・背景等）】

健康意識の向上、運動習慣の定着、特定健康診査の受診率の向上を図る。

### 【実施人数】

事業対象者：40歳以上の国保被保険者

### 【事業内容・実施方法】

期間内で一定日数の運動実施と特定健康診査の受診を目標とし、自己目標設定・管理用のリーフレットを作成し、配布した。

実施期間中に目標を達成した参加者には、健康グッズを記念品として進呈した。

### 【実施時期】

平成30年8月から平成30年12月まで

### 【評価指標】

事業参加者	300人
-------	------

### 【評価】

事業参加者	94人
-------	-----

### 【結果の分析と改善策】

参加者が固定されてきているので、新規参加者を増やすためマイレージへの関心を高めるための周知方法を検討する。